

審査の結果の要旨

氏名 石渡（青山）幸恵子

本論文では、ウイルス感染時の IPS-1 を介した自然免疫応答誘導のメカニズムについて解析するため、IPS-1 と相互作用する新たな RNA 結合タンパク質に注目した。その結果、その RNA 結合タンパク質がウイルス感染後の I 型インターフェロン産生やアポトーシス誘導といった抗ウイルス応答の活性化に重要であることを発見した。さらに、この RNA 結合タンパク質が IPS-1 の局在を制御することで抗ウイルス応答誘導を制御するという新たなモデルを提唱しており、ウイルス感染防御機構の解明に重要な研究であると思われる。

また、口頭試問において、論文内容と関連分野について議論した結果、博士号を授与するに十分な資質と見識を備えていると判断した。

よって本論文は博士（薬科学）の学位請求論文として合格と認められる。